

申告書の作成

1 償却資産申告書（償却資産課税台帳）の記入例

受付印	令和 8 年 1 月 6 日	令和 8 年度 償却資産申告書 (償却資産課税台帳)	(継続 新規) 2	所有者コード (例) 12345 6	
所 有 者 (ふりがな) 1 住 所 (又は納税通 知書送付先) (ふりがな) 2 氏 名 (法人にあっては その名前及び 代表者の氏名) (屋号)	〒900-0021 那覇市泉崎 1 丁目 1 番 1 号 1 ○○かぶしきがいしゃ ○○株式会社 代表取締役 那覇太郎	123-4567 2 事業種目 (資本等の金額) 3 事業開 始年月 4 平成 10 年 3 月 5 この申告 に応答す る者の姓 及び氏 名 6 税理士等 の氏名 7 おもろ次郎 (電話 321-7654) 8 短縮耐用年数の承認 9 増加償却の届出 10 非課税該当資産 11 課税標準の特例 12 特別償却又は圧縮記帳 13 税務会計上の償却方法 14 青色申告	3 個人番号又 は法人番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 8 7 6 5 4 事業種目 アルミサッシ加工業 5 事業開 始年月 6 この申告 に応答す る者の姓 及び氏 名 7 おもろ次郎 (電話 321-7654) 8 短縮耐用年数の承認 9 増加償却の届出 10 非課税該当資産 11 課税標準の特例 12 特別償却又は圧縮記帳 13 税務会計上の償却方法 14 青色申告		
	3 個人番号又 は法人番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 8 7 6 5 4 事業種目 アルミサッシ加工業 5 事業開 始年月 6 この申告 に応答す る者の姓 及び氏 名 7 おもろ次郎 (電話 321-7654) 8 短縮耐用年数の承認 9 増加償却の届出 10 非課税該当資産 11 課税標準の特例 12 特別償却又は圧縮記帳 13 税務会計上の償却方法 14 青色申告				
資産の種類	取 得 価 額	※ この欄も記入 して下さい			
1 構築物	前年中に取得したもの (a) 千円 百円 十円 千円 百円 十円 千円 百円 十円	前年中に減少したもの (b) 千円 百円 十円 千円 百円 十円 千円 百円 十円	前年中に販売したもの (c) 千円 百円 十円 千円 百円 十円 千円 百円 十円	計((a)-(b)+(c)) (d) 千円 百円 十円 千円 百円 十円 千円 百円 十円	① 那覇市 某町 1-2-3 (電話 111-2222)
2 機械及び 装置	7 000 000		2 200 000	9 200 000	② 那覇市 内 9 字某 1234 番地 (電話 222-1111)
3 船舶	8 100 000	3 236 400	3 000 000	7 863 600	③ (電話)
4 航空機			5 000 000	5 000 000	
5 車両及び 運搬具					
6 工具、器具 及び備品	1 150 000	2 550 000	4 500 000	1 345 000	16 借用資産 10 (有・無) 那覇市おもろ 56 番地 おもろリース 資産所在地: 那覇市東町 1-2-△
7 合 計	1 625 000	3 491 400	1 065 000	2 340 860	17 事業所用家屋の所有区分 11 自己所有・借家
資産の種類	評 価 額 (a)	※ 決 定 価 格 (b)	※ 課 税 標 準 額 (b)	18 備考 (添付書類等) 資産の増減等 (該当する番号に○印をつけてください) ① 増加減少資産あり (別紙種類別明細書を作成してください) ② 資産の増減なし ③ 該当資産なし ④ 廃業・解散・移転等 (H・R 年 月) 12	
1 構築物					
2 機械及び 装置					
3 船舶					
4 航空機					
5 車両及び 運搬具					
6 工具、器具 及び備品					
7 合 計					
記入の必要はありません。 ただし、企業電算処理により全資産申告を行う場合は 記入が必要です。					

- ①個人については住民登録地、法人の場合は本店所在地を記入してください。
 - ②個人の方は 12 衔の個人番号、法人の場合は 13 衔の法人番号を右詰めで記入してください。なお、償却資産を共有されている方については記入の必要はありません。また、個人番号カードを持参しておらず、個人番号が不明の場合は、番号が未記載でも受理いたします。
 - ③事業の内容を具体的に記入してください。事業種目が複数ある場合には主たる事業種目を記入してください。
 - ④法人は設立年月を、個人は事業開始年月を記入してください。
 - ⑤申告の内容等について確認を要する場合がありますので、もれなく記入してください。
 - ⑥印字されていない場合は、那覇市で付番された通知書番号を記入してください。新規で申告される場合は、空欄で結構です。
 - ⑦該当するものを○で囲んでください。
 - ⑧(イ)欄の期首が、前年度申告の(二)欄の期末と一致していなければ、申告もれの可能性があります。その場合は備考欄に「申告もれ資産あり」と記入してください。
 - ⑨那覇市内すべての資産所在地を記入してください。
 - ⑩「有」の場合は、貸主の住所、名称等及び資産の所在地を記入してください。
 - ⑪該当するものを○で囲んでください。
 - ⑫昨年の申告以降、資産に増減がない場合は「②資産の増減なし」に○を付けてください。廃業された場合は「④廃業・解散・移転等」に○を付け、廃業した年月を記載すると共に、個人の場合は税務署に提出した廃業届の写し等を、法人の場合は定款又は登記簿謄本履歴事項証明書等の写しを添付してください。